

佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画（後期計画）改定版（案） に対する意見募集の結果について

1 パブリック・コメントの概況

（１）意見募集期間

令和7年12月1日（月）～令和8年1月7日（水） 38日間

（２）意見提出者等

10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳 以上	不明	計
				1			1	2

（３）提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	専用フォーム	その他	計
			2		2

2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(後期計画)改定版において、P28 表3-3 整備スケジュールで、城東中学校区開校後4年空けて北中学校区(堀米地区)の工事期間に入るが、令和14年に城東中学校の校舎が空くため、城東中と城北小は距離も近いこともあり空き校舎を城北小に利用し、城東中移転後出来るだけ早く城北小の工事に取り掛かればスケジュールの短縮につながるのではないか。	具体的な小中一貫校整備構想の段階で、いただいたご意見も参考にしながらスケジュールの短縮につながる方策を十分に検討してまいります。
2	P30 以降に各義務教育学校の建設費用が記載されている。100億円以上の建設費用が当たり前に載っているが、本当に必要な金額なのか。100億円以内にする努力をするべきではないか。	ご指摘のとおり、学校の整備には多額の費用がかかることから、市の財政状況を踏まえて経費縮減に努めてまいります。

3	<p>P34 に PFI 導入に関する検討がある。100 億ほどの建設費であれば、地方銀行でも PFI に参画しやすくなり、地元にある銀行としてその後の管理もしやすくなる。地元企業を大切にする PFI にしてもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、本市として最適な整備手法を決定してまいります。</p>
4	<p>小学校同士で統合、中学校同士で統合という案は出なかったのか。小中の統合は現場で見ると苦しい面もあるため、学校現場の意見も少し聞いてほしいと思う。</p>	<p>本計画（案）においては、本市の推進する小中一貫教育のさらなる進展のため、小中一貫校を整備する方針です。</p> <p>各学校の整備にあたっては、教職員の皆様のご理解とご協力をいただきながら進めてまいります。</p>
5	<p>小規模校には小規模校の良さがあり、全て大きな学校になってしまうのかという寂しさも感じる。</p> <p>35 人学級を 1 人の担任がというのも仕事量のキャパシティを越えているように思う。どの学校も全体の子供の数は増えるが、1 学級の人数というのも課題と思う。この問題は国レベルの問題かもしれないが、現場の声として伝えたい。</p>	<p>いただいたご意見も参考に、国の動向を注視しながら、事務を進めてまいります。</p>